

おひひろ ねと協だより

No.166

平成31年1月1日発行

ホームページでも
ご覧になれます



帯広市社協
マスコットキャラクター
「ニコ、ニッコ、ニーク」

発行 社会福祉法人 帯広市社会福祉協議会
〒080-0847 帯広市公園東町 3 丁目 9 番地 1 TEL.21-2414 ©ホームページアドレス <http://www.obihiro-shakyo.jp/>

年頭のご挨拶

社会福祉法人
帯広市社会福祉協議会 会長 畑中 三岐子



新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、平成31年の新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。
旧年中は愛情銀行への預託や会員会費をはじめとする本会の運営や地域福祉活動への参加など、本会の事業推進に温かいご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。
また、昨年9月に発生いたしました北海道胆振東部地震により、今なお不自由な生活を余儀なくされている被災者の皆様には、ご再興とご健勝を心よりお祈り申し上げます。
さて、今、国は人生100年時代を見据え、誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現に向けて、働き方改革などのほか、効率的な保健・医療・介護の提供、安心して暮らせる社会に向けた福祉等の推進に取り組んでおります。
こうした中、私たちには、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に進められている「地域包括システムの構築」や「地域共生社会の実現」などの取組みが求められています。
本会は、地域福祉の推進を使命として、これまででも各種事業に取り組んでまいりましたが、地域交流サロンについては、現在、市内31カ所に開設され、ボランティアの皆様のご協力のもと、ふれあい・交流の場として活用されております。
介護事業については、地域包括支援センターにおける高齢者の介護や虐待、認知症などの総合的な生活支援や川北圏域の「地域支え合い推進員」による地域の支え合いづくりの窓口を担うと

もに、総合事業による帯広市の訪問型サービスの実施や帯広市生活援助員の養成なども行ってきています。
権利擁護に係わる各事業については、日常生活自立支援事業や成年後見事業を通して利用者の支援を行うとともに、市民後見人の養成研修や受任体制の充実に取り組んでいます。
災害時の対応としては、昨年9月に発生した胆振東部地震の被災地に職員を派遣し、被災地支援活動を行いました。
また、11月には、北海道ボランティアセンターと共同で十勝管内・管外の社協や帯広市、ボランティア団体などを対象に、災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催し、災害時の円滑な運営について研修を行いました。
平成31年度は、本会の第5期帯広市地域福祉実践計画（平成27年度～平成31年度）が最終年度を迎えますが、次期計画の策定にあたりましては、市民の皆様をはじめ、関係機関、団体の皆様と連携を図りながら、より実効性のある計画にしていきたいと思います。
今年も、市民ひとり一人が夢と希望をもって暮らせる「ともに支え合う安心・安全・福祉のまち」の実現のため、役職員一同、力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
新春に臨みまして、皆様方のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。



赤い羽根共同募金



10月1日から始まりました共同募金運動では、町内会や会社・団体など多くの市民から募金が寄せられました。
また、3日間実施いたしました街頭募金活動では、台風により2日間の中止となりましたが、寒いなか延べ約511人のボランティアのご協力と、多くの皆様から募金をいただき、誠にありがとうございました。
今年度の共同募金運動は12月31日で終了していますが、今回は11月30日現在の中間実績をご報告させていただきます。なお、平成30年度の最終実績につきましては、次回発行の社協だよりにてご報告させていただきます。

平成30年11月30日現在（単位：円）

区分	街頭募金	町内会募金	法人募金	個人募金	職域募金	箱募金	団体募金	学校募金	興行募金	その他募金	合計
赤い羽根共同募金	516,720	3,500,730	1,464,436	87,800	334,994	6,136	25,000	0	70,405	0	6,006,221
歳末たすけあい	0	1,586,826	0	0	0	0	0	0	0	0	1,586,826



▲太陽町内会の子どもたち（イオン帯広店前）



▲鉄南保育園の園児たち（とちかちプラザ前）



問い合わせ／帯広市共同募金委員会(担当:総務課)

ひとり親のための 第4回就業支援セミナー

母子家庭の母等で、専業主婦の期間が長く再就職に不安を感じている方や、就業に際して必要な技能の習得やキャリアアップを望む方などを対象に、就業準備や離職に関するセミナーを開催します。

- ◆テーマ 「探そう、私が求める働き方」
- ◆日時 平成31年2月6日(水)13:30~15:30
- ◆場所 帯広市グリーンプラザ 1階会議室B・C(帯広市公園東町3丁目9番地1)
- ◆講師 城戸和子氏 (KIDOライフデザイン研究所 キャリアデザイナー)
- ◆対象者 十勝管内在住のひとり親家庭の父母等
- ◆定員 10名(先着順)
- ◆参加費 無料
- ◆その他 セミナー終了後、個別相談を実施します。*希望者のみ(申込必須)

◆お申込・問い合わせ / 母子家庭等就業・自立支援センター ☎20-7751 E-mail:boshi@obihiro-shakyo.jp

法人後見支援員のご紹介



所 正吾 さん

市民後見人として

平均寿命が男女とも80歳を超え年々増えています。さらに高齢化の進行や家族構成の変化などにより、道内の65歳以上の高齢化率(平成30年1月)は、30.5%に達し、4人に1人が高齢者となっています。高齢化の進行に伴って、認知症や精神障害などにより日常生活に不安がある人が年々増加しています。従来は親族の方が身の回りのお世話をされてこられたのが、核家族化・親族の疎遠・高齢化等により年々減少している傾向にあります。今から15年前、親戚の方で80歳を過ぎたご夫婦が帯広に居住していました。子どもは一人だけで道外に住んでおり、年々身の回りのことができなくなり不安の念を抱いていたことと思います。私は自分ができることは可能な限りお手伝いしてあげたつもりですが、両人が亡くなった後、他に何かしてあげることができたのではないかと自責の念がありました。このようなことから、成年後見制度とはどういったものか知りたくて、平成29年度の「市民後見人養成研修」を受講し

ました。研修では法的に支援する制度ができたことや今まで知らなかった市民後見人としての必要な心構え・知識などを学びました。研修終了後、少しでも地域社会に役立つことができたかと思いついた成年後見支援センター「みまもる」に登録いたしました。支援員になった当初は戸惑いもありましたが、2回目の訪問からは顔見知りのように安心して対応してくれました。これからも相手の気持ちを共有して、ゆっくり丁寧にお話を聞くよう心がけて信頼関係を損なわないようにしていきたいと思ひます。支援員として、支援センター専門員や他の支援員の方と連携を図りながら、被後見人の方がこれからも、住み慣れた場所で安心して生活を送ってもらえるよう支援していきたいと思ひます。平成30年度の養成研修は9月で終了しましたが、今後1人でも多くの方が支援活動に参加していただけるよう願っております。

◆問い合わせ/成年後見支援センター ☎20-3225

小地域ネットワーク活動推進事業のご案内

小地域ネットワーク活動推進事業とは、地域における支え合いや見守りの仕組みづくりに向けた取り組みを支援するための事業です。単位町内会、連合町内会、自治会を対象に助成金の交付や出前講座などを行っています。

具体的な活動例

地域組織化活動

- 「福祉カード」を作成し、必要な支援活動の内容を把握します。
- 緊急時の連絡網を作成し、助け合いの組織づくりをします。

啓発活動

- 町内会の福祉活動を周知するための「福祉だより」の発行など。
- 車いす体験、身体障害者の介助体験、介護保険制度の講習会など。

訪問活動

- 一人暮らしの高齢者への声かけ訪問、カーテン開閉などによる安否確認など。
- 除雪、排雪活動など。

研修事業

- 生活習慣病講座、健康体操、高齢者疑似体験、車椅子体験などの出前講座。
- 高齢者を対象とした料理教室、救急法講習会など。

交流活動

- 茶話会や趣味の会、食事会などを身近な地域で開催し、高齢者や障がいのある人、子育て中の人などが集える場所の提供など。
- 「昔の遊び」の体験など、高齢者と子どもたちの異世代交流会の開催など。

- 年間指定～ 2年間にわたり事業を展開する単位町内会を対象に助成します。→ 助成額 1万円以上5万円以下(単年度)
- 事業助成～ 連合町内会、単位町内会、自治会の1つの事業を対象に助成します。→ 助成額 上限2万5千円
- 出前講座～ 連合町内会、単位町内会、自治会が、出前講座を行う際の、会場費や資料作成費を助成します。

「助成を受けてみたいけど、よくわからない」「福祉の活動について知りたい」「研修や出前講座を受けてみたい」など、お気軽にご相談ください!

◆問い合わせ/地域福祉課 ☎21-2414

「障害者週間」記念事業実行委員会からのご案内

～冬休みポスターコンクール開催のお知らせ～

ポスターを募集・展示することにより、障害のある人もない人も相互に理解し、ノーマライゼーションの広がりや理解を図ることを目的に開催します。

- ◆応募対象 ①市内の小学生(4～6年を対象とし、特別支援学級を含む) ②市内在住の障害児(者)
- ◆テーマ 子どもから大人まで、すべての人(障害のある人もない人も)が住み慣れた地域で、安心・安全に生活できるよう啓発するもの。ただし、障害児(者)についてはテーマを設けず、自由に描くものとします。
- ◆応募規定 B3(364mm×515mm)または四つ切り(382mm×542mm)の画用紙に直筆で作成(縦横どちらでも可) *裏面に、①学校名(施設名)、②クラス名(所属)③氏名(ふりがな必須)④作品名を記入してください。
- ◆応募締切 平成31年1月25日(金)
- ◆入賞作品 (1)最優秀 1名(賞状及び図書カード5,000円) (2)優秀 10名迄(賞状及び図書カード3,000円) (3)入選 10名迄(賞状及び図書カード1,000円) (4)佳作 10名迄(賞状及び図書カード500円)
- ◆入賞発表 平成31年2月中旬までに受賞者及び学校に通知します。
- ◆表彰式 平成31年2月24日(日)
- ◆作品展示 展示期間:平成31年2月20日(水)～2月26日(火) 展示場所:とがちプラザ1階 情報センター前
- ◆応募先 帯広市社会福祉協議会 「障害者週間」記念事業実行委員会事務局



「みんな」 森の里小学校森の子学級6年 五十嵐 流



◆問い合わせ/地域福祉課 ☎21-2414

VOL.59 広げようボランティアの輪

「傾聴(けいちょう)って、なんですか?」という質問をされることがよくあります。そんなとき、私たちは「相手の話によく耳を傾けて、真心を込めてお話を聴くことですよ」とお答えしています。そうです。「よく人の話を聴く」そんなボランティアや学びがあるのです。人は誰でも、愛してもらいたい、認めってもらいたい、受け入れてもらいたい、わかってもらいたい存在です。心の中のモヤモヤを、ちょっとだけ聴いてほしいときがあります。孤独なとき、辛く悲しいとき、または嬉しいとき、大切な懐かしい思い出話などなど…。誰かにゆっくり話を聞いてもらえたら、とても嬉しいものではないでしょうか。心の声を受け止め、共感し、優しく耳を傾けてくれる人がいてくれたら、人はどんなにホッとします。 「傾聴」には人の心をスッキリさせ、元気や生きる希望を湧かせる力があります。私たちは、毎月の学習会やボランティア活動を通して、「聴く力」の大切さを実感しています。無縁社会などと言われ、忙しい人が増え続ける中で、私たちは目の前の一人との温かいゆったりとした対話を通し、より良い社会への小さなお手伝いをさせて頂きたいと思ひます。皆さんも、一緒に「傾聴」を学んでみませんか?

おーぶなー 傾聴サークル OPENER

- 傾聴学習会 毎月最終日曜日 13:00～16:00
- 参加費 200円
- 場所 とがちプラザ(見学自由)
- 活動内容 老人ホームなど、一回約1時間程度の活動になります。
- 代表 野々村 千晶



▲サークルのメンバー、前列中央が野々村千晶代表



▲傾聴学習会の様子、この日は「死生観」をテーマに学習会を行いました

◆問い合わせ/地域福祉課 ☎21-2414

地域で支え合う街づくり

地域で支え合い活動が広がっています

今後更に高齢化が進むと言われる中で、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためのまちづくり「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。帯広市では、支え合いのある地域づくりを推進する「帯広市生活支援体制整備事業」が昨年から本格的に動き出し、8名の「地域支え合い推進員」が市内8日常生活圏域すべてに配置されました。地域支え合い推進員は、生活支援に関わるサービスや住民主体の活動といった【社会資源】を調べ必要とする人につなげたり、地域の課題について住民の皆さんと【一緒に考える】ために地域で行われているさまざまな活動に参加し【ネットワーク】を広げています。また、地域の理想像の共有や支え合い活動の推進について話し合う【協議体】と呼ばれるワークショップを随時開催しています。地域支え合いの必要性を伝える「ちょっとした支え合いサポーター養成講座」を帯広市全域で開催することで、支え合い活動の輪を広げています。皆さんも地域支え合い活動に参加してみませんか?

◆問い合わせ/地域支え合い推進員 ☎21-3292

帯広市季節労働者等生活資金貸付制度のご案内

季節労働者または企業倒産による解雇など事業主の都合により離職された帯広市在住の人を対象に、当面の生活費用として資金を貸し付けます。

季節労働者対象

- 市内在住の季節労働者で①～④全ての条件を満たす人
- ①雇用保険受給資格者で、特例一時金の支給を受けた者又は雇用保険被保険者離職票、資格喪失確認通知書の発行を受けている求職者登録をしている人
- ②生計維持者で、原則、扶養家族を有する人
- ③就労するまでの生活が困難な人
- ④十勝管内居住者で、年間150万円程度の収入のある連帯保証人を有する人
- ◆返済方法…6月から1月までの8回払い (但し、1月の貸付は、12月までの7回払い)
- ◆受付期間…H31年1月4日(金)～5月31日(金)

離職者対象

- 帯広市内在住で企業倒産による解雇など事業主の都合により離職された方で①～④全ての条件を満たす人
- ①雇用保険受給資格者、又は賃金法の立替払の証明書・確認書の交付を受けている求職者登録をしている人
- ②生計維持者で、原則、扶養家族を有する人
- ③就労するまでの生活が困難な人
- ④十勝管内居住者で、年間150万円程度の収入のある連帯保証人を有する人
- ◆返済方法…12ヵ月以内で最大8回までの毎月払い(返済猶予最大4ヵ月)
- ◆受付期間…随時
- いずれも貸付限度額は、一世帯150,000円まで、利率は当面の間0%で、貸し出しは原則として、月曜日までに受付けた分を次の週の火曜日に現金で交付します。

◆問い合わせ/帯広市商工観光部工業労政課 労政係 電話 65-4168

帯広市福祉人材バンクから講習会のお知らせ

悩んでいるならまず聴こう!就職活動のあれこれ

就活で困っていること、不安なことはありませんか? 就職支援の専門家が就職活動についてアドバイスいたします。就活を始める方、転職を考えている方や学生の方はぜひご参加ください!



- ◆開催日:平成31年2月23日(土)
- ◆開催時間:13:30～15:00
- ◆開催場所:帯広市グリーンプラザ 会議室B・C(帯広市公園東町3丁目9番地1)
- ◆講師:城戸和子氏(KIDOライフデザイン研究所 キャリアデザイナー)
- ◆対象者:福祉職場での就業に興味のある方、または福祉人材バンクに求職登録している方。
- ◆その他:参加費無料・服装自由

◆お申込・問い合わせ/帯広市福祉人材バンク ☎27-2525



▲川北地区で行われた住民参加ワークショップ

生活支援サービス体制整備事業

登録ホームヘルパー募集

在宅で生活をされている高齢者や障がいのある人の日常生活のサポートをする仕事です。

募集要項	募集人員	若干名
	資格	介護福祉士・介護職員初任者研修修了者 帯広市生活援助員養成研修修了者 (てだすけサービス)
	勤務日・時間	日曜日～土曜日で午前7時～午後8時のうち、 ご都合に合わせて働くことができますのでご 相談ください。
	賃金等	月20時間以上勤務可能な人を希望します。 ＜基本時給＞1,030円～1,130円/時間 ＜割増加算＞土日祝祭日・早朝・夜間は 各250円/1時間 ＜資格・経験年数加算＞20円～30円/1時間 勤務に伴う移動経費の支給及び被服貸与
	選考方法	書類選考及び面接



▲救急法講習では、心肺蘇生法の演習を行っています。



▲AEDの操作も学んでいます。



安心を
花束に!!

◆問い合わせ/在宅福祉課 ☎21-2677

くらしの 掲示板

「私は大丈夫」
そういう人ほどだまされやすい!

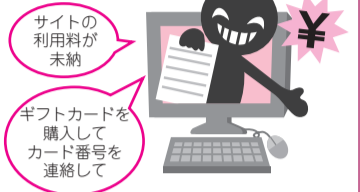
架空請求サギに注意しましょう。 心配な時はまず相談!

メールやはがき、封書を利用して未払料金があるなどの架空の事実を口実として料金を請求する手口です。

消費料金が未納になっているなどと記載されており、過去に利用した業者への未払いがあると思わせます。

【架空請求詐欺】

架空請求のはがきやメールには、『最終通告』『期日』『そのまま放置すると大変なことになる』などと書いてあり、不安にさせたり、動揺させたりして振り込みを要求してきます。



書かれている電話番号には絶対に連絡しない、メールなどは返信やアクセスをしないようにしましょう。

心当たりのない請求には応じないことですが、不安に思ったときは必ず相談をしてください。

少しでも不安を感じる場合には帯広警察署や帯広市消費生活アドバイスセンターに連絡して相談しましょう!

◆帯広警察署 ☎25-0110

◆帯広市消費生活アドバイスセンター ☎22-8393

◆問い合わせ/地域包括支援センター ☎21-3292

地域包括支援センター(北) ☎66-4535

ご協力ありがとうございました

掲載内容は、平成30年10月～11月末日までの実績で、敬称は省略させていただきました。個人情報保護の観点から、ご了承いただいた人以外の個人名は記載しておりません。

社協会員 新規入会者

●個人4名

愛情銀行の金銭預託

- 医療法人社団高木皮膚科診療所 ●松緑神道大和山
- 秋のリサイクルまつり実行委員会 ●光南ほほえみ倶楽部
- 真田正樹 ●高木健揚 ●日昇車輛(株) ●個人3名

愛情銀行の物品預託

- 六栄第三町内会婦人部(リングプル・使用済み切手) ●笑楽会(リングプル・使用済み切手) ●㈱設備テック(リングプル・使用済み切手)
- ㈱オカコーポレーション(リングプル・使用済み切手) ●帯広身体障害者福祉協会(リングプル・使用済み切手)
- 光南ほほえみ倶楽部(リングプル・使用済み切手) ●お茶の間わいわいくらぶ(リングプル) ●NPO法人コロポックル(リングプル)
- 東こまどり町内会(リングプル) ●あかしや中央町内会(リングプル) ●介護予防サークル「ハッピー依田」(リングプル)
- おりがみサークル パピロフレンズ(リングプル) ●西10号ふれあいサロン(リングプル) ●西しらかば町内会(リングプル)
- コスモスサロン(リングプル) ●十勝毎日新聞社(使用済み切手) ●カトリック帯広教会(使用済み切手) ●川田工業(株)(使用済み切手)
- 帯広地区保護司会(使用済み切手) ●帯広市納税課・市民税課・こども課・総合案内(使用済み切手) ●個人7名(リングプル)
- 個人1名(使用済み切手) ●個人4名(ひな人形・絵本・紙オムツ・紙パンツ・紙パット・ポータブルトイレ・介護用電動ベッド)



▲ひとり暮らし高齢者を対象とした「いきいき交流会事業」を指定して寄附をされた高木皮膚科診療所の事務員常通真美さん、植松菜緒さん、畑中三岐子社協会長、高木健揚さん(左から)



▲日昇車輛株式会社の秋の感謝祭イベントでのチャリティーオイル交換料を赤い羽根共同募金と愛情銀行へ預託された加藤雄樹代表取締役と大久保良信社協事務局長(左から)

訂正

平成30年11月1日発行のおひろろ社協だよりNo.165号2ページの、「教育支援資金のご紹介」において、就学支度費の貸付の申込期限が「平成30年2月末まで」となっていましたが、「平成31年2月まで」の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。



相互電業株式会社

～十勝とあなたを明るく照らす～

電球のお取替えから電気工事の設計・施工まで幅広くサポート!
電気のお悩みは相互電業にご相談ください!

〒080-0801 北海道帯広市東1条南5丁目2番地 相互ビル
TEL 0155-22-1188 FAX 0155-27-0614
営業時間 8:00～17:00

営業品目:米穀・飼料・食料品・プロパンガス・灯油



あなたのそばに おいしいものを
株式会社 食創

本社所在
〒080-0011 帯広市西1条南11丁目1番地
総務 TEL(0155)23-1311・FAX27-1762
米穀 TEL(0155)23-1312・FAX23-4461
食品 TEL(0155)23-1313・FAX23-2912
飼料 TEL(0155)23-1314・FAX27-1762
燃料 TEL(0155)22-5588・FAX22-5538

http://www.shokusou.co.jp/

